

全国  
交流集会

締め切り日 第1次・11月4日(火) / 最終締め切り日・11月10日(日)

申込用紙の必要な項目に記入の上、全国災対連事務局にFAX・メールでお申込み下さい。  
 全国災対連(略称) : TEL : 03-5842-5611 FAX : 03-5842-5620

被災3県から参加される方の申し込み先

岩手県 : 東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議 TEL・FAX : 019-601-5133  
 宮城県 : 東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター TEL : 022-399-6907 FAX : 022-399-6925  
 福島県 : 東日本大震災・原発被害者の救援・復興めざす福島県民共同センター TEL : 024-522-3097 FAX : 024-522-3102

参加申し込み用紙

団体名		団体 TEL				
団体住所		FAX				
参加者代表 お名前		携帯番号				
		携帯メール				
お名前	性別	参加する日に○をつけてください		分科会 番号	宿泊希望	備考
1	男・女	11/15	11/16		有・無	
2	男・女	11/15	11/16		有・無	
3	男・女	11/15	11/16		有・無	
4	男・女	11/15	11/16		有・無	
5	男・女	11/15	11/16		有・無	
6	男・女	11/15	11/16		有・無	

— 申し込みは直接福島生協労働組合 後藤剛志 宛 —

オプション  
ツアー

「原発事故・津波被害 被災地視察と土湯の  
地熱発電を学ぶ」バスツアー

実施日程 11月14日(金)12時00分JR郡山駅集合。  
12時40分出発  
 視察コース 14日(金) 浜通り視察(いわき)→被災地発→宿舎「山水荘」  
15日(土)山水荘で説明会→地熱発電視察→「山水荘」  
(12:00到着予定)  
 定員制 45人の申込みになり次第締め切ります(大型バス1台)。  
 参加費・宿泊費 14,000円  
 申込み 10月1日より先着順受付  
 福島生協労働組合 後藤剛志 宛  
 FAX:024-559-1679 TEL:024-559-0493  
 案内 ガイドが付きます。

11月14日～15日 オプションツアー申込書

お名前	団体名	電話番号
1 男・女		
2 男・女		
3 男・女		

お名前	団体名	電話番号
4 男・女		
5 男・女		
6 男・女		

※申込み欄がたりない場合は、コピーして下さい。

被災者本位の復興と  
原発ゼロを  
めざして



- 1 大災害・原発事故から三年半が経過しました。私たちは、被災者が主人公の復旧・復興に取り組んできました。その実践経験をもとに各分野の取り組みの成果と到達点を交流し深める場として開催します。
- 2 全国の災害被災地で奮闘されてきた方々の参加を呼びかけて、憲法25条にもとづいたさらなる被災者の権利拡大をめざし交流する場として開催します。
- 3 仮設住宅建設、除染など復旧・復興事業は大企業の金儲けの場として活用されています。これとどう対峙し、賠償運動の前進、生活再建や生業、まちづくりなどで被災者が主人公の復旧・復興のあり方、その実現のための方策をお互いに学ぶ場として開催します。

全国  
交流集会

11月15日(土)  
～16日(日)  
土湯温泉「山水荘」  
宿泊参加費 15,000円  
(1泊2日)  
日帰り参加費 1,000円  
全体会場:2F大宴会場「信達の間」  
分科会・宿泊も「山水荘」です

オプション  
ツアー

11月14日(金)正午  
～15日(土)正午  
「原発事故・津波被害  
被災地視察と土湯の  
地熱発電を学ぶ」

大型バス1台45人のみ

主催：全国交流集会2014 in ふくしま実行委員会 (実行委員会の構成・連絡先)

- 全国災対連(略称) ○東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議 ○東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター
- 宮城災対連(略称) ○東日本大震災・原発事故被害者の救援・復興めざす福島県共同センター

<連絡先> 〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4階 全労連気付  
 TEL : 03(5842)5611 FAX : 03(5842)5620 E-mail : saigai-shien-kaizen@zenkoku-saitairen.jp



# 交流会 スケジュール

## 第1日 15日(土)

13:00 開会(全体集会：山水荘：信達の間)  
主催者代表あいさつ  
地元歓迎あいさつ  
政党からの激励挨拶・メッセージ紹介  
協賛・後援の紹介

13:30 記念講演

「震災から3年 浪江町の  
現状と復興への道のり」  
馬場 有 浪江町長



14:30 休憩  
14:40 被災3県の現状と課題  
・岩手県民会議  
・みやぎ県民センター  
・ふくしま復興県共同センター  
15:25 休憩・移動  
15:45 分科会  
18:00 休会  
19:00 夕食懇親会

## 第2日 16日(日)

7:00 朝食  
8:30 分科会再開  
11:00 休憩・移動  
11:30 (全体集会：山水荘：信達の間) 再開  
分科会の報告  
12:55 まとめと閉会あいさつ  
13:00 終了



### “食べて支援”“買って支援” 秋の物産展

実施 「山水荘」内  
販売予定 水産加工品、新米や秋のフルーツ、  
地元工芸品など多彩に。



会場  
土湯温泉  
山水荘

全体集会／山水荘2F大宴会場「信達の間」  
分科会／山水荘  
宿泊／山水荘  
〒960-2157 福島県福島市土湯温泉町字油畑55  
TEL：024-595-2141 FAX：024-595-2731

交通案内

**東北新幹線** 福島駅西口1Fバスプールから無料直行シャトルバス(45人乗り)(12時発)。  
新幹線の到着時間に合わせて2回程度バス運行予定。  
※乗車時間は約30～40分(16キロ)です。車内禁煙。途中下車はできません。

**自家用車の場合** 臨時駐車場(土湯温泉入り口付近)から 無料直行マイクロバス運行  
※乗車時間は約5分です。 極力乗合でご参加ください。  
お帰りの際の無料バスは、15日13:30発を予定。  
(なお、通常の運行時刻表は「山水荘」HP参照)

**東北自動車道**：福島西I.C→国道115号線→土湯温泉 所要時間15分

# 分科会

※参加希望者数によっては、締め切り後に分科会の再編・分割をする場合があります。

## 第1分科会

今後の生活再建支援制度の  
改善に向けて

被災から3年半。依然として応急仮設生活が続く中で今後の生活再建への被災者の模索が始まっています。今後の生活再建支援制度の改善に向けた全国的な運動方向を交流・討論します。

## 第2分科会

農民・漁民が主体の農・林・  
漁の復興を

この震災をテコに農林漁業を成長戦略に位置づけ、大企業の儲けの場作りをしようとしています。今求められるのは、農民・漁民が主体の農・林・漁の復興です。さらに、国際家族農業年の目的である経済効率優先社会からの転換をどのように実践し、発信するかを交流します。

## 第3分科会

子ども、地域に寄り添った  
教育の復興を

①放射能と子どもの健康、②間借り校・仮設校、教職員の加配など教育条件整備、③子どもや教職員の心のケア対策、④奨学金などの「支援事業」の拡充、⑤防災対策と復興教育、の5点で交流します。

## 第4分科会

放射能汚染からくらしと  
健康を守る

「県民健康調査」検討委員会は、5月「甲状腺がんが『確定』した人は50人となった」と公表。専門家の評価も別れる中、避難した人、福島で生活することを決めた人、今なおそれぞれ苦悩を抱えながら生活しています。現状を正しく認識し、今後の取り組みを交流します。

## 第5分科会

放射能被害の全面賠償を  
勝ち取る

被曝評価基準の後退や「年間1mSv以下」という追加被曝線量の曖昧化、賠償打ち切り方針が出されています。賠償打ち切りを許さず、国と東電に賠償責任を果たさせるたたかいが今こそ求められています。各分野・団体のこの間のたたかいと課題を交流します。

## 第6分科会

被災地での安心・安全な  
雇用の実現を

政府の雇用対策は被災者の生活再建に有効活用されているか、生活安定のための賃金になっているか、被災地自治体のマンパワー不足は解消されているのか、公契約条例制定運動、原発労働者の賃金・労働条件の実態等について交流します。

## 第7分科会

被災者の健康実態は？  
社会保障拡充は死活問題

応急仮設住宅での長引く生活による被災者の健康実態はどうなっているのか。生活苦も重なる中で、医療・介護の一部負担の免除継続は死活問題です。社会保障のあり方等を交流します。

## 第8分科会

岐路にある商工業・事業再開。  
今こそ支援策の拡充を

事業再開は7割程度。仮設店舗から本設展開へと移行ができるかどうか。グループ補助金など支援策拡充、二重ローンの対策が必要です。消費税増税の影響など生業再生に向けた交流を行います。

## 第9分科会

大地震に備える防災・  
減災の在り方は

14年に入り、関東を震源地とする地震が頻発。東海・東南海等で発生する地震に備えた防災・減災の在り方にポイントをあてた討論と交流を行います。